

約束と信い

。信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束とともに相續するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。
 10 彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。
 11 信仰によって、サラも、すでにその年を過ぎた身であるのに、子を宿す力を与えられました。彼女は約束してくださった方を真実な方と考えたからです。
 12 そこで、ひとりの、しかも死んだも同様のアブラハムから、天の星のように、また海への数えきれない砂のように数多い子孫が生まれたのです。

子 都

・約束の相續人
 ・天の都

約束 相續財産

相續を受け子。
 約束の地。

神の警告
 正しい義人

喜ばれ
 主 近づ

13:15

ささげ
 義人
 アベル

17

エ17

。信仰によって、アブラハムは、相續財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。
 1 信仰によって、ノアは、まだ見ていない事からについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相續する者となりました。
 2 信仰によって、エノクは死を見ることのないように移されました。神に移されて、見えなくなりました。移される前に、彼は神に喜ばれていることが、あかしされていきました。
 3 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。
 4 信仰によって、アハバは、まだ見ていない事からについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相續する者となりました。
 5 信仰によって、エノクは死を見ることのないように移されました。神に移されて、見えなくなりました。移される前に、彼は神に喜ばれていることが、あかしされていきました。

神と主に奉
 17. エ17

見えぬものと見ている。信仰に
 世のものではない。

世のものを

・約束を望む。望み見ている
 見えぬ。 (天)

・アベル. エ17 ... 受け入れらる子 ... 金うとれた義人
 (都に子/と主に子)
 17. エ17.

? 創世記. パル. エ17. 17の
 設けは. 受け入れらる子と主の子
 (都に子と主に子?)

11

。信仰は望んでいる事からを保証し、目に見えないものを確信させるものです。
 2 昔の人々はこの信仰によって稱賛されました。
 3 信仰によって、私たちは、この世界が神の**ことば**で造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に**見えるもの**からできたのではないことを悟るのです。
 4 信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神にささげ、そのいけにえによって彼が義人であることの証明を得ました。神が、彼のささげ物を良**いささげ物**だとあかししてくださったからです。彼は死にましたが、その信仰によって、今もなお語っている**アベルの血**です。

天の故郷

地では旅人

13 これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。
 14 彼らはこのように言うことによって、自分の故郷を求めて示しています。
 15 もし、出て来た故郷のことを思っていたのであれば、帰る機会があったでしょう。
 16 しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあっていました。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさうとせませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。

12:23

恐れな
子とせし
よみがえり
(勝利あり)

よみがえり 脱出 救い

17 信仰によって、アブラハムは、試みられたときイサクをささげました。彼は約束を与えられていました。神はアブラハムに対して、「イサクから出る者があなたの子孫と呼ばれる」と言われたのですが、彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることができる、と考えました。それで彼は、死者の中からイサクを取り戻したのです。これは型です。信仰によって、イサクは未来のことについて、ヤコとエサウを祝福しました。信仰によって、ヤコブは死ぬとき、ヨセフの子どもたちをひとりひとり祝福し、また自分の杖のかしらに寄りかかって礼拝しました。

試みとまぬがけ
恐れずに 脱出

22 信仰によって、ヨセフは臨終のとき、イスラエルの子孫の脱出を語り、自分の骨について指図しました。23 信仰によって、モーセは生まれてから、両親によって三か月の間隠されていました。彼らはその子の美しいのを見たからです。彼らは王の命令をも恐れませんでした。24 信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、25 はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。10:33 26 彼は、キリストのゆえに受ける苦しみを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかつたのです。27 信仰によって、彼は、王の怒りを恐れず、エジプトを立ち去りました。目に見えない方を見るようにして、忍び通したからです。28 信仰によって、初子を滅ぼす者が彼らに触れることのないように、彼は過越と血の注ぎとを行ないました。

約束の子孫
死からよみがえり

29 信仰によって、彼らは、かわいた陸地を行くのと同時に紅海を渡りました。エジプト人は、同じようにしようとしたが、のみこまれてしまいました。30 信仰によって、人々が七日の間エリコの城の周囲を回ると、その城壁はくずれ落ちました。31 信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかにに滅びるので、不従順な人たちといっしょに滅びました。

よみがえり
苦しみ 死 滅び 試み

目を離させようとする
信仰は目に見えるものを
確信させ

約束のことばと
信仰 — 恐れ
(恐れず) (目に見えるもの)
近づく — 遠く 離れ 捨てる

32 これ以上、何を言いましようか。もし、ギデオンのバラク、サムソン、エフタ、またダビデ、サムエル、預言者たちについても話すならば、時間が足りないでしょう。33 彼らは、信仰によって、国々を征服し、正しいことを行ない、約束のものを得、ししの口をふさぎ、34 火の勢いを消し、剣の刃をのがれ、弱い者なのに強くされ、戦いの勇士となり、他国の陣営を陥れました。35 女たちは、死んだ者をよみがえらせていただきました。またほかの人たちは、さらにすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを願わないで拷問を受けました。36 また、ほかの人たちは、あざけられ、むちで打たれ、さらに鎖につながれ、牢に入れられるめに会い、37 また、石で打たれ、試みを受け、のこぎりで引かれ、剣で切り殺され、羊やぎの皮を着て歩き回り、乏しくなり、悩まされ、苦しめられ、38 — この世は彼らにふさわしい所ではありませんでした。—— 荒野と山とほら穴と地の穴とをさまよいました。39 この人々はみな、その信仰によってあかしされましたが、約束されたものは得ませんでした。40 神は私たちのために、さらにすぐれたものをあらかじめ用意しておられたので、彼らが私たちと別に全うされるといふことはなかつたのです。

敵からの脱出
死からのよみがえり

イエスと同じように雲の父の訓練を受けたい。

3809
3810
3811

12

「こういわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちに

取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨て、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。

2 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもとめせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。

3 あなたがたは、罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、疲れ果ててしまわないためです。

4 あなたがたはまだ、罪と戦って、血を流すまで抵抗したことがあります。

5 そして、あなたがたに向かって子どもに對するよう語られたこの勧めを忘れていません。

「わが子よ。」

主の懲らしめを軽んじてはならない。

主に責められて弱り果ててはならない。

主はその愛する者を懲らしめ、

受け入れるすべての子に、

むちを加えられるからである。

7 訓練と思つて耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。

もしあなたがたが、だれでも受ける懲らしめを受けていないとすれば、私生子であつて、ほんとうの子ではないのです。

9 さらにまた、私たちには肉の父がいて、私たちを懲らしめたのですが、しかも私たちは彼らを敬つたのであれば、なおさらのこと、私たちはすべての霊の父に服従して生きるべきではないでしょうか。

10 なぜなら、肉の父親は、短い期間、自分が良いと思ふままに私たちを懲らしめるのですが、霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです。

11 すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえつて悲しく思われるのですが、後になると、これによつて訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。

Ps 89:

互いの平和を求めよ。

申8:5

40年10月。

Ps 126 涙。

相続人

愛する子。

12 ですから、弱った手と衰えたひざとを、まっすぐにしなさい。

13 また、あなたがたの足のためには、まっすぐな道を作りなさい。足なえの人も関節をはずすことのないため、いやむしろ、いやされるためです。

14 すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることはできません。

15 そのためには、あなたがたはよく監督して、だれも神の恵みから落ちる者がないように、また、苦い根が芽を出して悩ましたり、これによつて多くの人が汚されたたりすることのないように、

16 また、不品行の者や、一杯の食物と引き替えに自分のものであつた長子の権利を売つたエサウのような俗悪な者がいないようにしなさい。

17 あなたがたが知っているとおおり、彼は後になつて祝福を相続したいと思つたが、退けられました。涙を流して求めても、彼には心を變えてもらふ余地がありませんでした。

34:14

35

イエスの天の御国に近づいている。

(主の日、さばきの日)

相續人、相續分

18 あなたがたは、手でさわれる山、燃える火、黒雲、暗やみ、あらし、
19 ラッパの響き、ことばのとどろきに近づいているのではありません。このとどろきは、これを聞いた者たちが、それ以上一言も加えてもらいたくないと願ったものです。
20 彼らは、「たとい、獣でも、山に触れるものは石で打ち殺されなければならない」というその命令に耐えることができなかったのです。
21 また、その光景があまり恐ろしかったので、モーセは、「私は恐れて、震える。」と言いました。
22 しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。
23 また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、
24 さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。
25 語っておられる方を拒まないように注意しなさい。なぜなら、地上においても、警告を与えた方を拒んだ彼らが処罰を免れることができなかったとすれば、まして天から語っておられる方に背を向ける私たちが、処罰を免れることができるのは当然ではありませんか。
26 あのときは、その声が地を揺り動かしましたが、このたびは約束をもって、こう言われます。「わたしは、もう一度、地だけではなく、天も揺り動かす。」
27 この「もう一度」ということばは、決して揺り動かされることのないものが残るために、すべての造られた、揺り動かされるものが取り除かれることを示しています。
28 こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕をすることができるようになります。
29 私たちの神は焼き尽くす火です。

Ps125. 信頼。シメオン、ヤコブのことば。

互いに恵み?と祈る。

13

正しい者。

兄弟愛をいつも持つていなさい。
2 旅人をもてなすことを忘れてはいけません。こうして、ある人々は御使いたちを、それとは知らずにもてなしました。
3 牢につながれている人々を、自分も牢にいる気持ちで思いやり、また、自分も肉体を持っているのですから、苦しめられている人々を思いやりなさい。
4 結婚がすべての人に尊ばれるようにしなさい。寝床を汚してはいけません。なぜなら、神は不品行な者と姦淫を行なう者とをさばかれるからです。
5 金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」
6 そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。「主は私の助け手です。私は恐れませんが、人間が、私に対して何ができませんよう。」

Psa.118

Ps124
主は助け手。

申31:6.

ヨハ3:1:5.

テテ.

13:23

神に近づく/新しい心、望み、新しい律法。
都、相續分、捧喜 (3) ⑦
平和、シメオン、良、感謝、賛美。

新しい心、約束の人、神が救いの手。
子、相續人、忍耐、死 ① (40)